

観察支援システムFishWatchr Miniにおける ビデオ参照機能の実現

山口昌也

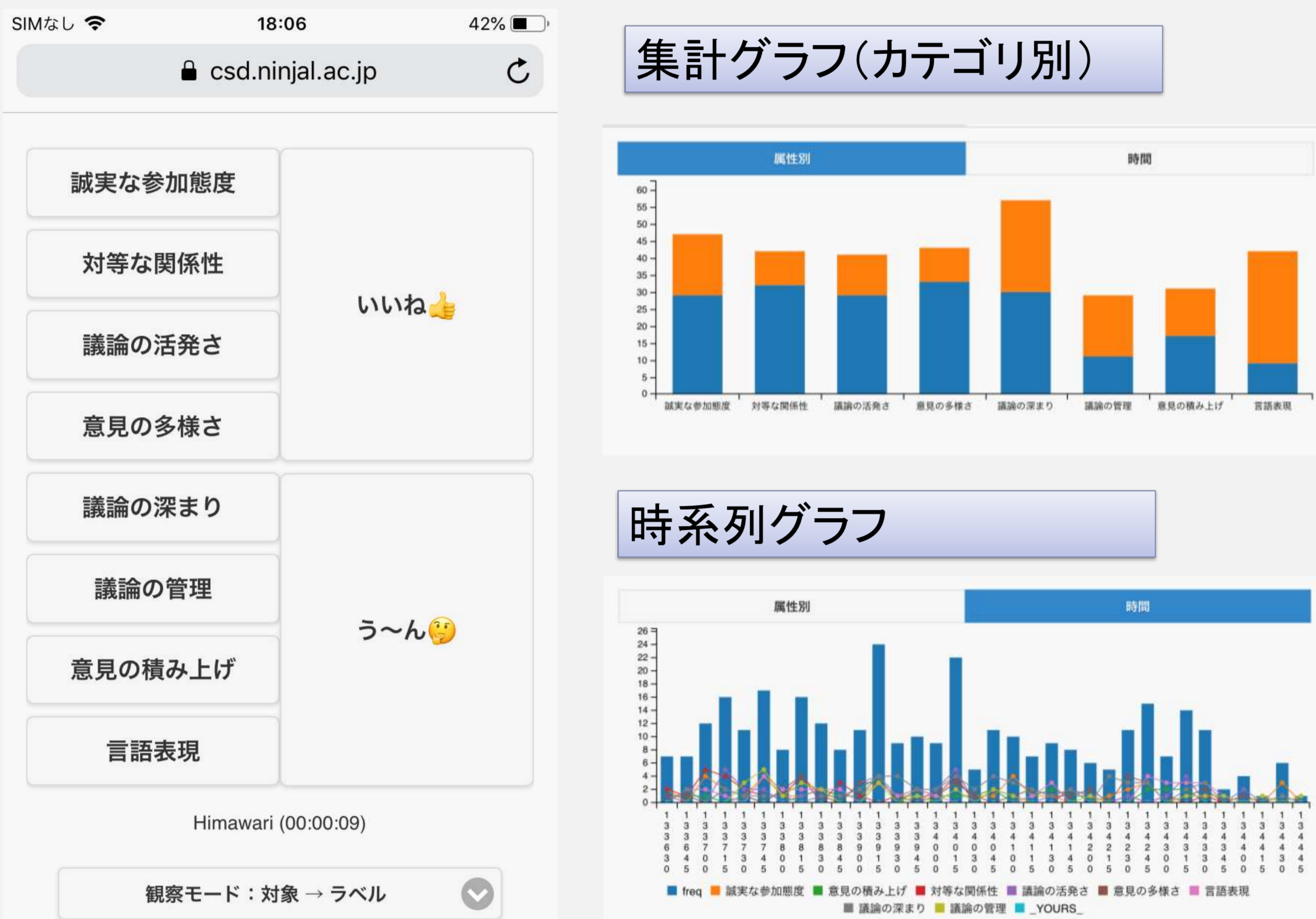
(国立国語研究所)

柳田直美

(一橋大学)

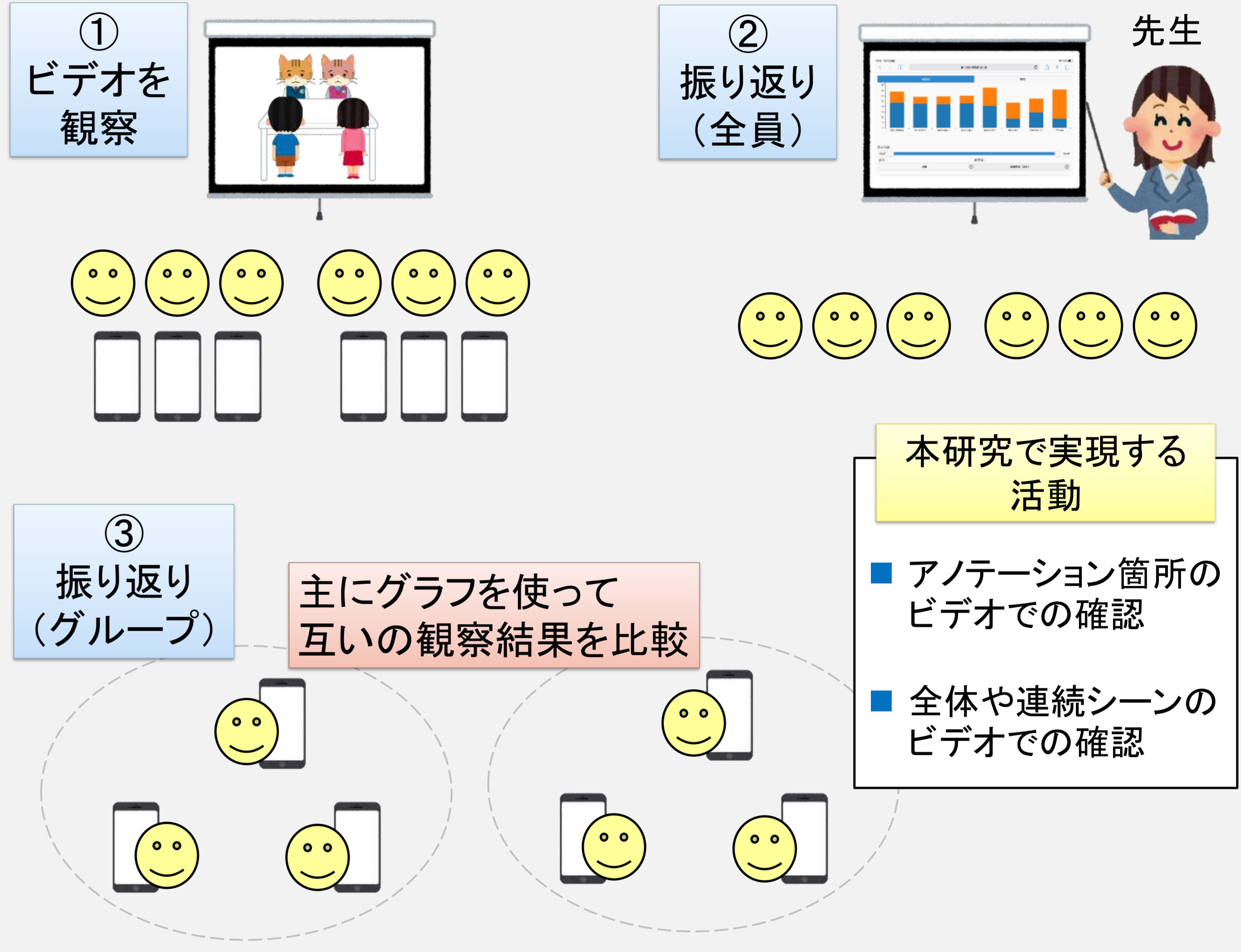
背景

- FWMを用いた観察と振り返り支援
 - ディスカッション練習やプレゼンテーション練習などの協同型の観察・振り返りを想定
 - モバイルデバイスによるリアルタイムアノテーション(観察)
 - アノテーション結果の視覚化に基づく振り返り支援



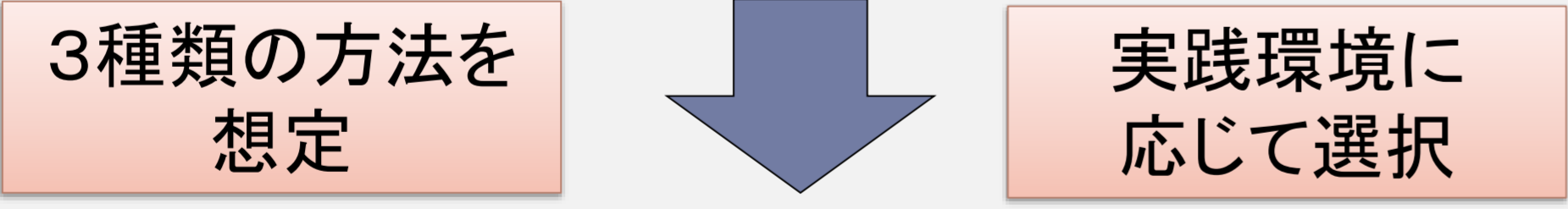
FishWatchr Miniを用いた話し合いトレーニング

- グループでの話し合いの初学者を対象としたカリキュラムの一環
- 大学生の10-20名(日本人向け, 留学生向け)



設計

- 想定するビデオ参照方法
 - 指定されたシーン・ビデオ全体を再生
 - ネットワーク上に共有されたビデオを参照
- 設計上の留意点と対策
 - ビデオファイルの共有場所
 - ファイルサイズの制限
 - ネットワーク回線容量
 - サーバの能力 (ストリーミング再生対応など)
 - 個人情報の保護
 - 受講者以外の閲覧を制限
 - パスワード配布の手間
 - 閲覧期間の制限



YouTubeを利用

- YouTube上で共有(ビデオID)
- YouTubeの「限定公開」で参照を制限

◎共有サーバとしての能力大
◎パスワード配布が不要
△一定の閲覧制限

学内CMS (manabaなど)を利用

- CMS上で共有(固定URL)
- CMSの認証系で参照を制限

◎CMSユーザに閲覧制限
◎パスワード配布が不要
△共有サーバとしての能力?

一般Webサーバを利用

- 一般Webサーバ上で共有(固定URL)
- 認証系はサーバに依存

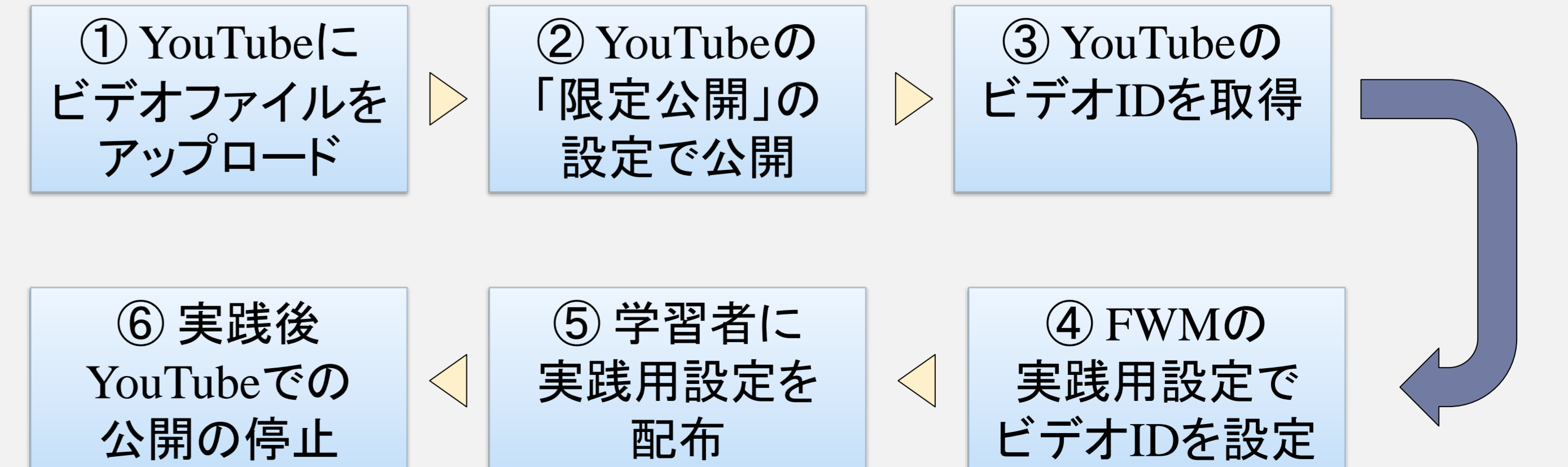
△閲覧制限はサーバに依存
△パスワード配布が必要
△共有サーバとしての能力?

実装結果

- 振り返り時のビデオ参照
- 集計グラフによる振り返り箇所選択



実践までの流れ



小規模な実践結果

- 話し合いトレーニングの授業の一環
- 都内の短期大学大学生4名

問題なく適用できることを確認